

対象校No. 1027
注4

学校コード F140310110703
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 研究科の設置
注1

届出

注2

西南学院大学大学院 外国語学研究科 外国語学専攻（修士課程）

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 （改正前大学設置基準適用）

学校法人西南学院
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	大学院課
職名・氏名	カチヨウ アサイ シュウジ 課長・浅井 修史
電話番号	092-823-3190（内線3190）
（夜間）	092-841-1316
e-mail	gra-jimu@seinan-gu.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

外国語学研究科

＜外国語学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	21
7. その他全般的事項	23

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人 西南学院

(2) 大 学 名

西南学院大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒814-8511

福岡県福岡市早良区西新六丁目2番92号

(注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ミヤザキ リュウイチ) 宮崎 隆一 (令和4年12月)		
学 長	(イマイ ナオキ) 今井 尚生 (令和4年12月)		
研究科長	(ミヤハラ アキラ) 宮原 哲 (令和6年4月)		
学科長等			

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
外国語学研究科 外国語学専攻 修士(外国語学)	文学関係	2 年	8 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	16 人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	8人 8 (—) [—]	—人 (—) [—]	—	1.12倍	一倍	
志願者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	12 [1]	(—) [—]				
受験者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	11 [—]	(—) [—]				
合格者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	10 [—]	(—) [—]				
B 入学者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	9 [—]	(—) [—]				
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.12	—				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	9 [—] (—)	— [—] (—)	
2 年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3 年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4 年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	9 [—] (—)	— [—] (—)	

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	9 人	0 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜外国語学研究科 外国語学専攻＞

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通 科目	アカデミックスキルズ	1前	2			2					
	研究方法論A(量的研究)	1前		2		2					
	研究方法論B(質的研究)	1前		2		2	1				
	研究方法論C(文学文化研究)	1前		2		3					
	多文化共生社会論	1後		2		2					
	言語文化研究	1後		2		3					1
	文学と社会	1後		2		3					
	小計(7科目)	—	2	12		15	1				1
専門 科目	グローバルコミュニケーション理論	1前		2		2					
	対人コミュニケーション研究	1前		2		1					
	組織コミュニケーション研究	1前		2		1					
	異文化コミュニケーション研究	1前		2			1				
	メディアコミュニケーション研究	1前		2		1					
	コミュニケーション能力	1後		2		1					
	リーダーシップと集団コミュニケーション	1後		2		1					
	対立と交渉	1後		2		2					
	応用コミュニケーション	1後		2		3	1				
	レトリック	1後		2		1					
	国際社会と地域	1前・後		2		1	1				
	国際社会と平和	1前		2		1	1				
	国際社会とジェンダー	1後		2		1					
	英語統語論・形態論	1前		2		2					
	英語意味論・語用論	1後		2		2					
	英語音声学・音韻論	1・2前		2		2					
	英語教育学研究	1前		2		3					
	英語教育学特論	1後		2		3					
	心理言語学	1後		2		2					
	辞書学(英語)	2前		2		3					
	対照言語学特論	1後		2		3					
	フランス言語学A	1前		2		3					
	フランス言語学B	1後		2		3					
	フランス語教育学A	1前		2		3					
	フランス語教育学B	1後		2		3					
	フランス語音声学・音韻論A	1後		2		2					
	フランス語音声学・音韻論B	2前		2		2					
	フランス語教授法特論A	1前		2		4					1
	フランス語教授法特論B	1後		2		4					1
	日本語教育学	1前		2		2					
	日本語教育学	1後		2		2					
文学 文化 プログラム	文学理論	1・2前		2		7	2				
	イギリス近代文学特論	1・2後		2		4					
	イギリス文化研究	1・2前		2		5	1				
	アメリカ文学特論	1・2後		2		2					
	アメリカン・レトリック研究	1・2前		2		2					
	英語圏文学特論	1・2後		2		3	2				
	英語圏表象文化特論	1・2前		2		6	2				
	英語圏地域研究(ヨーロッパ)	1・2後		2		5	2				
	世界文学研究	1・2前		2		7	2				
	世界文学特論	1・2後		2		7	2				
	フランス語圏文学特論	1前		2		2					
	フランス語圏演劇特論	1後		2		1					
	フランス語圏小説特論A	1前		2		1					1
	フランス語圏小説特論B	1後		2		1					
	フランス社会思想史	1後		2		1					
	フランス表象文化特論	1・2前		2		4					1

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通 科目	アカデミックスキルズ	1前		2		2					
	研究方法論A(量的研究)	1前		2		1					
	研究方法論B(質的研究)	1前		2		1	1				
	研究方法論C(文学文化研究)	1前		2		1					
	多文化共生社会論	1後		2		2					
	言語文化研究	1後		2		1					1
	文学と社会	1後		2		2					
	小計(7科目)	—	2	12		10	1				1
専門 科目	グローバルコミュニケーション理論	1前		2		1					
	対人コミュニケーション研究(未開講)	1前		2		1					
	組織コミュニケーション研究(未開講)	1前		2		1					
	異文化コミュニケーション研究	1前		2			1				
	メディアコミュニケーション研究	1前		2		1					
	コミュニケーション能力	1後		2		1					
	リーダーシップと集団コミュニケーション	1後		2		1					
	対立と交渉(未開講)	1後		2		1					
	応用コミュニケーション(未開講)	1後		2		1	0				
	レトリック(未開講)	1後		2		1					
	国際社会と地域(未開講)	1前・後		2		1	0				
	国際社会と平和(未開講)	1前		2		1	0				
	国際社会とジェンダー	1後		2			1				
	英語統語論・形態論(未開講)	1前		2		1					
	英語意味論・語用論	1後		2		1					
	英語音声学・音韻論	1・2前		2		1					
	英語教育学研究	1前		2		1					
	英語教育学特論	1後		2		1					
	心理言語学	1後		2		1					
	辞書学(英語)(未開講)	2前		2		1					
	対照言語学特論	1後		2		1					
	フランス言語学A	1前		2		1					
	フランス言語学B(未開講)	1後		2		1					
	フランス語教育学A	1前		2		1					
	フランス語教育学B(未開講)	1後		2		1					
	フランス語音声学・音韻論A(未開講)	1後		2		1					
	フランス語音声学・音韻論B(未開講)	2前		2		1					
	フランス語教授法特論A	1前		2		1					0
	フランス語教授法特論B(未開講)	1後		2		1					0
	日本語教育学	1前		2		1					
	日本語教育学	1後		2		1					
文学 文化 プログラム	文学理論	1・2前		2		1	0				
	イギリス近代文学特論	1・2後		2		1					
	イギリス文化研究	1・2前		2		1	0				
	アメリカ文学特論	1・2後		2		1					
	アメリカン・レトリック研究(未開講)	1・2前		2		1					
	英語圏文学特論(未開講)	1・2後		2		1	0				
	英語圏表象文化特論	1・2前		2		1	0				
	英語圏地域研究(ヨーロッパ)	1・2後		2		1	0				
	世界文学研究(未開講)	1・2前		2		1	0				
	世界文学特論	1・2後		2		1	0				
	フランス語圏文学特論(未開講)	1前		2		1					
	フランス語圏演劇特論(未開講)	1後		2		1					
	フランス語圏小説特論A(未開講)	1前		2		0					1
	フランス語圏小説特論B	1後		2		1					
	フランス社会思想史(未開講)	1後		2		1					
	フランス表象文化特論	1・2前		2		0					1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目	研究演習I	1前		2		23	2				
	研究演習II	1後		2		23	2				
	特論演習I	2前	2			23	2				
	特論演習II	2後	2			23	2				
	小計(51科目)	－	4	98	0	24	3				1
合計(58科目)		－	6	110	0	24	3				1
卒業要件及び履修方法											
修了するのに必要な単位数は30単位で、その履修方法は次の通りである。 共通科目から必修科目2単位、選択科目「研究方法論A(量的研究)」「研究方法論B(質的研究)」「研究方法論C(文学文化研究)」から2単位以上修得のうえ、計4単位以上を修得し、専門科目の各プログラムの一つから12単位以上修得のうえ、「特論演習I」及び「特論演習II」の4単位を含む16単位以上、合計30単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び試験に合格すること。											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目	研究演習I	1前		2		23	1				
	研究演習II	1後		2		23	1				
	特論演習I(未開講)	2前	2			23	1				
	特論演習II(未開講)	2後	2			23	1				
	小計(51科目)	－	4	98	0	24	2				1
合計(58科目)		－	6	110	0	24	2				1
卒業要件及び履修方法											
修了するのに必要な単位数は30単位で、その履修方法は次の通りである。 共通科目から必修科目2単位、選択科目「研究方法論A(量的研究)」「研究方法論B(質的研究)」「研究方法論C(文学文化研究)」から2単位以上修得のうえ、計4単位以上を修得し、専門科目の各プログラムの一つから12単位以上修得のうえ、「特論演習I」及び「特論演習II」の4単位を含む16単位以上、合計30単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び試験に合格すること。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために**未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入**してください。
 - ・ **1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入**してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度(新)】→【令和5年度(新)】→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度(旧)】→【令和5年度(旧)】

(1) ー②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

・担当割変更により、「研究方法論A(量的研究)」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
・担当割変更により、「研究方法論B(質的研究)」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
・担当割変更により、「研究方法論C(文学文化研究)」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
・担当割変更により、「言語文化研究」の教員等の配置を「教授3兼任・兼任1」から「教授1兼任・兼任1」に変更。
・担当割変更により、「文学と社会」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
・上記の変更により、共通科目小計の教員等の配置を「教授15准教授1兼任・兼任1」から「教授10准教授1兼任・兼任1」に変更。
・担当割変更により、「コミュニケーション理論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
・担当割変更により、「対立と交渉」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
・担当割変更により、「応用コミュニケーション」の専任教員等の配置を「教授3准教授1」から「教授1准教授0」に変更。
・担当割変更により、「国際社会と地域」の専任教員等の配置を「教授1准教授1」から「教授1准教授0」に変更。
・担当割変更により、「国際社会と平和」の専任教員等の配置を「教授1准教授1」から「教授1准教授0」に変更。
・担当割変更により、「英語統語論・形態論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
・担当割変更により、「英語意味論・語用論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
・担当割変更により、「英語音声学・音韻論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
・担当割変更により、「英語教育学研究」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授1」に変更。
・担当割変更により、「英語教育学特論」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授1」に変更。
・担当割変更により、「心理言語学」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
・担当割変更により、「辞書学(英語)」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授1」に変更。
・担当割変更により、「対照言語学特論」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授1」に変更。
・担当割変更により、「フランス言語学A」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授1」に変更。
・担当割変更により、「フランス言語学B」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授1」に変更。
・担当割変更により、「フランス語教育学A」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授1」に変更。
・担当割変更により、「フランス語教育学B」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授1」に変更。
・担当割変更により、「フランス語音声学・音韻論A」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
・担当割変更により、「フランス語音声学・音韻論B」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
・担当割変更により、「フランス語教授法特論A」の教員等の配置を「教授4兼任・兼任1」から「教授1兼任・兼任0」に変更。
・担当割変更により、「フランス語教授法特論B」の教員等の配置を「教授4兼任・兼任1」から「教授1兼任・兼任0」に変更。
・担当割変更により、「日本語教育学」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
・担当割変更により、「日本語教育学」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
・担当割変更及び科目担当者の昇格により、「文学理論」の、専任教員等の配置を「教授7准教授2」から「教授1准教授0」に変更。
・担当割変更により、「イギリス近代文学特論」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授1」に変更。
・担当割変更により、「イギリス文化研究」の専任教員等の配置を「教授5准教授1」から「教授1准教授0」に変更。
・担当割変更により、「アメリカ文学特論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
・担当割変更により、「アメリカン・レトリック研究」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
・担当割変更により、「英語圏文学特論」の専任教員等の配置を「教授3准教授2」から「教授1准教授0」に変更。
・担当割変更により、「英語圏表象文化特論」の専任教員等の配置を「教授6准教授2」から「教授1准教授0」に変更。
・担当割変更により、「英語圏地域研究(ヨーロッパ)」の専任教員等の配置を「教授5准教授2」から「教授1准教授0」に変更。
・担当割変更及び科目担当者の昇格により、「世界文学研究」の、専任教員等の配置を「教授7准教授2」から「教授1准教授0」に変更。
・担当割変更及び科目担当者の昇格により、「世界文学特論」の、専任教員等の配置を「教授7准教授2」から「教授1准教授0」に変更。
・担当割変更及び科目担当者の退職により、「フランス語圏文学特論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
・担当割変更により、「フランス語圏小説特論A」の教員等の配置を「教授1兼任・兼任1」から「教授0兼任・兼任1」に変更。
・担当割変更及び科目担当者の退職により、「フランス表象文化特論」の教員等の配置を「教授4兼任・兼任1」から「教授0兼任・兼任1」に変更。
・科目担当者の辞任及び科目担当者の昇格により、「研究演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授23准教授2」から「教授23准教授1」に変更。
・科目担当者の辞任及び科目担当者の昇格により、「研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授23准教授2」から「教授23准教授1」に変更。
・科目担当者の辞任及び科目担当者の昇格により、「特論演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授23准教授2」から「教授23准教授1」に変更。
・科目担当者の辞任及び科目担当者の昇格により、「特論演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授23准教授2」から「教授23准教授1」に変更。
・上記の変更により、専門科目小計の教員等の配置を「教授24准教授3兼任・兼任1」から「教授24准教授2兼任・兼任1」に変更。
・上記の変更により、科目数合計のを教員等の配置を「教授24准教授3兼任・兼任1」から「教授24准教授2兼任・兼任1」に変更。

- (注) ・ 2 (1) ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
3 科目	55 科目	0 科目	58 科目	3 科目 []	55 科目 []	0 科目 []	58 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{58} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1)校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校地用途変更（2024年度）			
	校 舎 敷 地	86,977.07㎡ 82,095.24㎡	㎡	㎡	86,977.07㎡ 82,095.24㎡				
	運動場用地	137,009.88㎡ 141,891.71㎡	㎡	㎡	137,009.88㎡ 141,891.71㎡				
	小 計	223,986.95㎡	㎡	㎡	223,986.95㎡				
	そ の 他	32,251.36㎡	㎡	㎡	32,251.36㎡				
	合 計	256,238.31㎡	㎡	㎡	256,238.31㎡				
6. 附帯事項等に対する履行状況		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用			
		75,487.57㎡ (75,487.57㎡)	㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	75,487.57㎡ (75,487.57㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 用途変更（2024年度） 人員配置の変更に伴う修正（6）		
		104室	31室	30室 29室	9室 (補助職員10 8人)	12室 (補助職員2人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		令和 6 年 3 月 専任教授 1 名退職のため		
		外国語学研究科外国語学専攻			26 27 室				
(5)図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	【図書】【学術雑誌】 【電子ジャーナル】 【視聴覚資料】実績に 基づく数値変更。(6) 【機械・器具】【標 本】実績とそれによ る数値変更(2024年度) 研究科単位での特定不 能なため、大学全体の 数	
		冊	種						
		外国語学研究科 外国語学専攻	1,276,105 [482,246] 1,283,727 [488,483] (1,238,573) [471,338]) (1,262,779) (12,952)	13,856 [4,709] 13,882 [4,693] (13,850) [4,701]) (12,952)	19,779 [19,720] 20,854 [20,795] (19,483 [19,424]) (20,405 [20,346]) (37,283)	37,204 37,689 (36,530) (37,283)	3,148 3,101 (2,977) (3,284)		143 118 (133) (125)
	計	1,276,105 [482,246] 1,283,727 [488,483] (1,238,573) [471,338]) (1,262,779) (12,952)	13,856 [4,709] 13,882 [4,693] (13,850) [4,701]) (12,952)	19,779 [19,720] 20,854 [20,795] (19,483 [19,424]) (20,405 [20,346]) (37,283)	37,204 37,689 (36,530) (37,283)	3,148 3,101 (2,977) (3,284)	143 118 (133) (125)		
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数		収納可能冊数			大学全体	
		11,715.21㎡	1,179		180万冊				
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体	
		9,577.48㎡	テ ニ ス コ ー ト 9 面		サ ッ カ ー 場 1 面				
			ア メ リ カ ン フ ッ ト ボ ー ル 場 1 面		ラ グ ビ ー 場 1 面				
			陸 上 競 技 場 1 面		ア ー チェ リ ー 場 1 面				
			野 球 場 1 面		ソフトボール場兼 多目的運動場 1面				
			弓 道 場 1 面						
(8) 経費の見積り の及び維持	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	【図書購入費】図書費 及びデータベース価格 の変更のため(6) 【設備購入費】実績と それに基づく想定費用 変更等による数値変更 (2024年度)	
		教員 1 人当り研究費等	612千円	612千円	図書購入費	28,559千円	30,448千円 28,946千円		30,916千円 29,341千円
		共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	10,128千円 9,730千円	10,128千円 9,730千円		10,128千円 9,730千円
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	【図書購入費】 届出研究科（外国語学 研究所）全体 電子ジャーナル・デー タベースの整備費（運 用コスト）含む	
		841千円	706千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		入学検定料、私立大学等経常費補助金、寄附金、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称											収容定員充足率Ⅱ:15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又は 称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備 考	
神学部	4	10	-	40	-	1.10	1.00	-	昭和41	-	福岡県福岡市早良区西新6丁目2番92号	
神学科	4	10	-	40	学士 (神学)	1.10	1.00	-	昭和41			
文学部	4	-	-	-	-	-	-	-	昭和29	-	福岡県福岡市早良区西新6丁目2番92号	令和2年度入学生より学生募集停止
英文学科	4	-	-	-	学士 (英文学)	-	-	-	昭和29			
外国語学科	4	-	-	-	学士 (英語学)	-	-	-	昭和40	同上	福岡県福岡市早良区西新6丁目2番92号	令和2年度入学生より学生募集停止
外国語学部	4	300	-	1200	-	1.05	1.01	-	令和2	-		
外国語学科	4	300	-	1200	学士 (外国語学)	1.05	1.01	-	令和2	福岡県福岡市早良区西新6丁目2番92号	福岡県福岡市早良区西新6丁目2番92号	
商学部	4	360	-	1440	-	1.07	1.03	-	昭和29	-		
商学科	4	180	-	720	学士 (商学)	1.06	1.02	-	昭和29	福岡県福岡市早良区西新6丁目2番92号	同上	
経営学科	4	180	-	720	学士 (経営学)	1.08	1.03	-	昭和41			
経済学部	4	360	-	1440	-	1.06	1.02	-	昭和39	-	福岡県福岡市早良区西新6丁目2番92号	
経済学科	4	240	-	960	学士 (経済学)	1.06	1.02	-	昭和39			
国際経済学科	4	120	-	480	学士 (経済学)	1.07	1.01	-	平成17	同上	福岡県福岡市早良区西新6丁目2番92号	
法学部	4	410	-	1640	-	1.04	1.01	-	昭和42	-		
法律学科	4	315	-	1260	学士 (法学)	1.04	1.01	-	昭和42	福岡県福岡市早良区西新6丁目2番92号	同上	
国際関係法学科	4	95	-	380	学士 (法学)	1.04	1.01	-	平成4			
人間科学部	4	335	-	1340	-	1.05	1.03	-	平成17	-	福岡県福岡市早良区西新6丁目2番92号	
児童教育学科	4	100	-	400	学士 (教育学)	1.03	1.01	-	平成17			
社会福祉学科	4	115	-	460	学士 (社会福祉学)	1.05	1.02	-	平成17	同上	同上	
心理学科	4	120	-	480	学士 (心理学)	1.08	1.05	-	平成24			
国際文化学部	4	180	-	720	-	1.10	1.04	-	平成18	-	福岡県福岡市早良区西新6丁目2番92号	
国際文化学科	4	180	-	720	学士 (国際文化)	1.10	1.04	-	平成18			
大学全体	4	1955	-	7820	-	-	-	-	-	-		

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部・学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ＡＣの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・ [宮原教授] 担当割変更のため、「研究方法論B(質的研究)」を担当しない。
- ・ [三宅教授] 担当割変更のため、「文学理論」「イギリス近代文学特論」「英語圏表象文化特論」「英語圏地域研究(ヨーロッパ)」「世界文学研究」「世界文学特論」を担当しない。
- ・ [伊藤教授] 担当割変更のため、「英語統語論・形態論」「英語意味論・語用論」「英語音声学・音韻論」「英語教育学研究」「英語教育学特論」「辞書学(英語)」「対照言語学特論」を担当しない。
- ・ [山元教授] 担当割変更のため、「研究方法論A(量的研究)」「応用コミュニケーション」を担当しない。
- ・ [杉山教授] 担当割変更のため、「研究方法論A(量的研究)」「フランス言語学A」「フランス言語学B」「フランス語音声学・音韻論A」「フランス語音声学・音韻論B」「フランス語教授法特論A」「フランス語教授法特論B」を担当しない。
- ・ [清宮教授] 担当割変更のため、「文学と社会」「コミュニケーション理論」「対立と交渉」「応用コミュニケーション」を担当しない。
- ・ [真下教授] 令和6年3月退職のため「研究方法論C(文学文化研究)」「フランス語圏文学特論」「フランス語圏演劇特論」「フランス表象文化特論」「研究演習I」「研究演習II」「特論演習I」「特論演習II」を担当しない。
- ・ [藤野教授] 担当割変更のため、「研究方法論C(文学文化研究)」「文学理論」「アメリカ文学特論」「アメリカン・レトリック研究」「英語圏文学特論」「英語圏表象文化特論」「世界文学研究」「世界文学特論」を担当しない。
- ・ [加藤教授] 担当割変更のため、「イギリス近代文学特論」「イギリス文化研究」「英語圏地域研究(ヨーロッパ)」「世界文学研究」「世界文学特論」を担当しない。
- ・ [横溝教授] 担当割変更のため、「英語教育学特論」「日本語教育学」を担当しない。
- ・ [北垣教授] 担当割変更のため、「フランス表象文化特論」を担当しない。
- ・ [宮本(林田)教授] 担当割変更のため、「文学理論」「英語圏文学特論」「英語圏表象文化特論」「世界文学研究」「世界文学特論」を担当しない。
- ・ [アズラ教授] 担当割変更のため、「言語文化研究」「フランス語教育学A」「フランス語教育学B」「フランス語教授法特論A」「フランス語教授法特論B」を担当しない。
- ・ [和田教授] 担当割変更のため、「フランス語圏小説特論A」「フランス表象文化特論」を担当しない。「フランス語圏演劇特論」を追加。
- ・ [一谷教授] 担当割変更のため、「文学理論」「イギリス文化研究」「英語圏表象文化特論」「英語圏地域研究(ヨーロッパ)」「世界文学特論」を担当しない。
- ・ [中西教授] 担当割変更のため、「英語統語論・形態論」「英語意味論・語用論」「心理言語学」「辞書学(英語)」を担当しない。
- ・ [ドーハティ教授] 担当割変更のため、「英語教育学研究」を担当しない。
- ・ [トリュベール教授] 担当割変更のため、「フランス言語学A」「フランス言語学B」「フランス語教育学A」「フランス語教育学B」を担当しない。
- ・ [山田教授] 担当割変更のため、「対照言語学特論」「日本語教育学」を担当しない。
- ・ [河原教授] 担当割変更のため、「文学理論」「イギリス近代文学特論」「イギリス文化研究」「英語圏表象文化特論」「世界文学研究」「世界文学特論」を担当しない。
- ・ [ホドソン教授] 担当割変更のため、「文学理論」「イギリス文化研究」「英語圏表象文化特論」「英語圏地域研究(ヨーロッパ)」「世界文学研究」「世界文学特論」を担当しない。
- ・ [初見准教授] 担当割変更のため、「応用コミュニケーション」「国際社会と地域」「国際社会と平和」を担当しない。
- ・ [石田准教授] 担当割変更のため、「文学理論」「イギリス文化研究」「英語圏文学特論」「英語圏地域研究(ヨーロッパ)」「世界文学研究」「世界文学特論」を担当しない。
- ・ [カシャ教授] 教授に昇格。担当割変更のため、「文学理論」「英語圏文学特論」「英語圏表象文化特論」「英語圏地域研究(ヨーロッパ)」「世界文学研究」を担当しない。
- ・ [武末教授] 担当割変更のため、「フランス語教授法特論A」「フランス語教授法特論B」を担当しない。

(注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)」を受けてください。**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員**
- ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
2	5	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設 置 時 の 計 画						現 在（報告時）の 状 況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	助手（A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	助手（B'）
24	3	0	0	27	0	24	2	0	0	26	0
(24)	(3)	(0)	(0)	(27)	(0)						
研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
25	23	2	0			24	23	2	0		
(25)	(23)	(2)	(0)								
現 在（報告時）の 完 成 年 度 時 の 状 況						現 在（報告時）の 完 成 年 度 時 の 計 画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	助手（C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	助手（D'）
24	2	0	0	26	0	24	2	0	0	26	0
[0]	[Δ1]	[0]	[0]	[Δ1]	[0]	[0]	[Δ1]	[0]	[0]	[Δ1]	[0]
研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
24	23	2	0			24	23	2	0		
[Δ1]	[0]	[0]	[0]			[Δ1]	[0]	[0]	[0]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
- ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
70 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 一④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{26}{27} = \boxed{96.29} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{26} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	眞下 弘子	R6.3	選択	研究方法論C（文学文化研究）	①	令和6年3月31日付 自己都合のため辞任（6）						
				選択	フランス語圏文学特論	①							
				選択	フランス語圏演劇特論	①							
				選択	フランス表象文化特論	②							
				選択	研究演習Ⅰ	①							
				選択	研究演習Ⅱ	①							
				必修	特論演習Ⅰ	①							
				必修	特論演習Ⅱ	①							
合計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	5	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	7	科目	計	1	科目	計	0	科目

- （注）・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「（3）-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当なし											
合 計 （ F ）						後任補充状況の集計（ G ）							
辞任した教員数		担当科目数の合計（ a ） + （ b ） + （ c ）				①の合計数（ a ）		②の合計数（ b ）		③の合計数（ c ）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- （注）・一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	6 科目	選択	5 科目	選択	1 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	8 科目	計	7 科目	計	1 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{27} = 3.7 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
		該当なし											
合 計					後任補充状況の集計								
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
0	人	必修	#REF!	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	#REF!	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	#REF!	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	#REF!	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。

・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

担当予定であった科目全てに後任を配置できた為、支障なし。
担当教員の交代については、学生便覧や時間割表にて学生へ周知した。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、
今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後 の実施計画
認 可 時 (令和6年)	該当なし	履行中	

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。） と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
- 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
- 令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
- 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
- 令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。
- 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
- 「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。
- その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<外国語学研究科 外国語学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

大学院FD委員会（大学院全体の組織）

外国語学研究科FD委員会（研究科ごとの組織）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

大学院FD委員会

2023年度は7回（4月3日、6月24日、9月6日、10月19日、11月16日、12月7日、1月25日）開催し、委員の8割以上が参加。

2024年度についても6～7回程度開催予定である。

外国語学研究科FD委員会

他の研究科FD委員会同様、年度内に3～4回を開催予定である。

c 委員会の審議事項等

FDに関する施策及び企画に関する事項

FD活動の点検及び評価に関する事項

② 実施状況

大学院FD委員会（大学院全体の組織）

外国語学研究科FD委員会（研究科ごとの組織）

a 実施内容

- ・ 委員会の開催
- ・ 入学定員充足率向上に伴う取組の検討（学部・修士5年一貫制度、社会人一年制度等）
- ・ 横断型教育プログラムの検討
- ・ 在学生、修了生アンケートの実施
- ・ 在学生、修了生アンケート結果の活用検討 等

b 実施方法

学部・修士5年一貫制度、社会人一年制度等の入学定員充足率向上に伴う取組については、早期卒業制度を実施していない研究科を中心に研究科ごとのFD委員会で検討を進めている。

在学生、修了生アンケートは、毎年３月にWEBによるアンケートを実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

委員会開催

・大学院FD委員会

2023年度は7回（4月3日、6月24日、9月6日、10月19日、11月16日、12月7日、1月25日）開催し、委員の8割以上が参加。

2024年度についても6～7回程度開催予定である。

・外国語学研究科FD委員会

他の研究科FD委員会同様、年度内に3～4回を開催予定である。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

在学生、修了生アンケート結果を各教員へフィードバックし、大学院教育の改善に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

在学生、修了生に向けて大学院教育に関するアンケートは実施しているが、授業評価アンケートは実施していない。

b 教員や学生への公開状況、方法等

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

学生確保の状況について、外国語学研究科の入学定員8人に対して2024(令和6)年度入試では志願者〇名、入学者〇人であった。このことから本学大学院外国語学研究科の設置の趣旨等は受験生等に広く理解を得られているものと捉えている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・令和7年3月末

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

- ・令和6年に評価機関(大学基準協会)の評価を受審予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和6年度)

a 公表予定の有無 [有]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表(予定)時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

≪ aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。